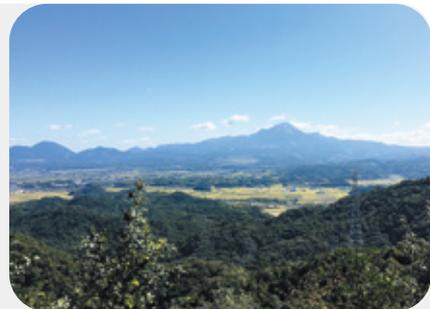


まちの タカラ

思い出の安田要害山を守る

～要害山まつぼっくりの会～



▲山頂から眺める大山。伯太町安田関にある長台寺本堂裏に登山口があります。

◀「要害山まつぼっくりの会」の皆さん（一部）。作業は午前中に2時間程度。途中、山頂のベンチで休憩をして後半戦に臨みます。

「常盤の松に風かおる 古い歴史の要害山」。安田小学校校歌（3番）の歌い始めです。安田要害山は鳥取県境に位置し、標高は281.2メートル。宝見山ほうけんざんという別名もあります。

「山頂に大きな松の木があった頃は、米子方面から家に帰る時、国道9号からその松の木を見て『伯太に帰って来たなあ』と思ったものでした。」「要害山まつぼっくりの会」原瀬美規みのり会長は、頭の中にある記憶を思い起こします。

同会は、平成23年8月に設立。登山道の草刈りや松の木の植栽、ハチの巣駆除などを行っています。

「現在は、松枯れで山頂にあった大きな松の木はなくなりました。昔のように青々とした松に囲まれる山になればと思い、植栽をしています。また、登山に来た人が気持ちよく登れるように道を整備しています。多くの人にここを訪れてもらって魅力を感じてもらえると作業をした甲斐があったと思えますね」と原瀬会長は微笑みます。

戦国時代には、山城として活用された安田要害山。周囲を監視する役割を果たしていたため、山頂からの眺めは良く、隠岐の島が見えるときも。心地よい風に吹かれながらゆったりとした時間を過ごせる場所。ここは、同会の皆さんによって守られています。

編集後記

▼山頂からの景色を初めて見たのは冬の夕方でした。夕陽に照らされる雪化粧した大山。夢中でシャッターを切ったのを覚えています。安田要害山は大山を望むのに絶好のスポット。ある時期には、大山の山頂から朝日が姿を現すところを見ることができるところだとか。興味のある方は狙ってみてください（旬）

▼下山交流センターの「よらいやカフェ」。取材して感じたのは、男性の参加率が高いこと。交流センターの主宰さんは「地域に住む高齢者、特に男の人に役割を持ってもらうことで、やりがいに繋がっています」と理由を明かしてくれました。皆さんも地域の中で熱中できるものを探してみませんか（一）

安来市の人口と世帯数 R3.7.31現在

人口合計 / 37,310人
(男:17,945人 女:19,365人)
世帯数 / 14,335世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。